



井上 佳郎 議員

高島市の地域交通施策について

問 移動手段の確保に向けた制度・運用改善について
どのような対応を考えているか

答 「区域運行予約乗合タクシーへの移行」や「スクールバスの地域公共交通路線との統合」など路線再編についての検討を進めます

今後研究していきたいと思っております。

問 現在実施されている他の自治体の公共ライドシェアや合併前に実施していた朽木地域における郵便局のひまわりサービスなどを参考にすればどうか。

答 都市整備部長

地域公共交通を補完する補助的な移動サービスということで、全国で取り組まれている事例はしっかりと研究をし、この高島市の公共交通の課題にどう運用していけるのかといったことについては、検討していきたいと思っております。

問 交通空白の発生防止や利便性向上策として、移動手段の確保に向けた制度・運用改善についてどのような対応を考えているか。

答 都市整備部長

高島市地域公共交通利便増進実施計画に基づき「区域運行予約乗合タクシーへの移行」や「スクールバスの地域公共交通路線との統合」など路線再編についての検討を進めたいと考えております。

問 高島市の公共交通施策が地域活性化に活かされるようにするためにどのように考えているか。

答 都市整備部長

地域公共交通の維持・確保は、地域住民の生活を支え、地域経済の活性化につながるかと考えております。

交通利用状況やアンケート調査、関係機関へのヒアリング等を通して、しっかりとニーズや課題等を把握し、地域住民の移動手段の確保や、観光誘客による地域公共交通の利用促進などを通して地域活性化を図ってまいります。

と考えております。

問 今後の高島市の交通施策を考える中で、ライドシェアについても施策に考慮すべきでは。

答 都市整備部長

市民生活における移動手段を確保する上で、現在のサービスの提供が困難となる地域が想定される場合や、観光需要への柔軟な対応を考える中で、ライドシェアの導入についても検討をしていく必要があると考えていますが、しっかりと体制構築ができることが前提になりますので、

その他の質問

・近江今津駅周辺地域まちづくり構想の策定について